



|                        |   |
|------------------------|---|
| Title                  | 北海道大学ピア・サポートの新展開：つながり創出型ピア・サポートシステムの試み  |
| Author(s)              | 岡本, 健   |
| Citation               | 第4回「ぴあのわ」. 2011年1月8日. 名古屋工業大学, 名古屋市.  |
| Issue Date             | 2011-01-08  |
| Doc URL                | <a href="http://hdl.handle.net/2115/44657">http://hdl.handle.net/2115/44657</a> |
| Type                   | lecture   |
| Additional Information | There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.      |
| File Information       | slide.pdf (発表スライド)  |



[Instructions for use](#)

# 北海道大学ピア・サポートの新展開 —つながり創出型ピア・サポートシステムの試み—

第4回「ぴあのわ」

2011年1月8日

於：名古屋工業大学

北海道大学ピア・サポート学生代表  
岡本健

北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院観光創造専攻 博士後期課程

北海道大学 観光学高等研究センター リサーチアシスタント

大阪観光大学 観光学研究所 客員研究員

okamotot@cats.hokudai.ac.jp

## ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

## ②広報の提案

## ③今後の活動の指針

# ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

# ②広報の提案

# ③今後の活動の指針

# 北海道大学ピア・サポート活動の概要

☆ピア・サポーターが、学生からの相談を受け、その解決をはかる、あるいは、解決が可能な組織を紹介することが主たる業務

## ☆ピア・サポーターの構成

- 学部生：6人（男性3人、女性3人）
- 大学院生：5人（男性2人、女性3人）

☆2009年11月に試行、  
2010年4月より本格稼働

☆ボランティア相談室を  
間借りしていたが、2010年10月より専用の部屋に移転



旧ピア・サポート室の様子

## ①-1 北大ピア・サポートの概要

相談人数(単位:人)

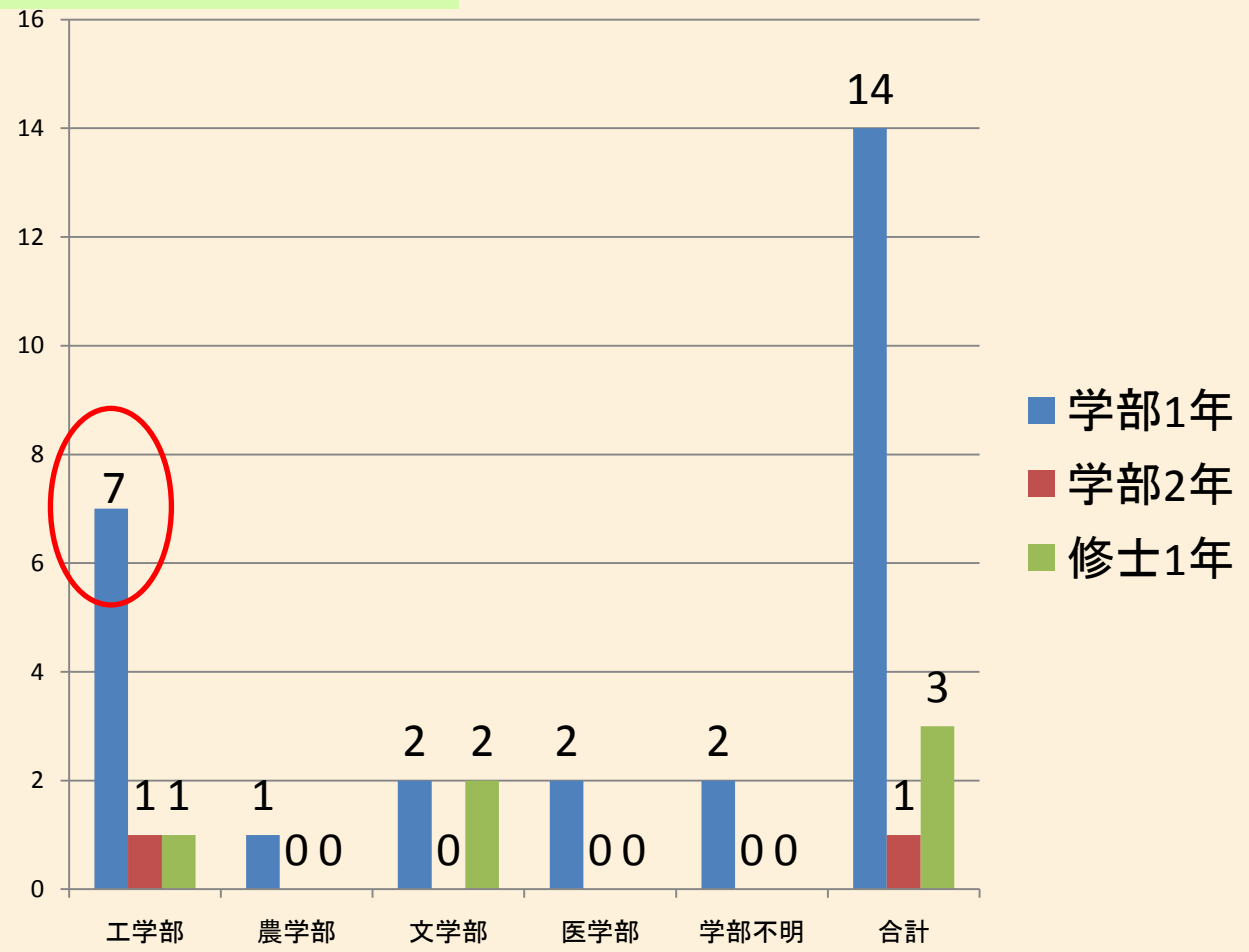
|                 | 相談者数      | 来室者数       |
|-----------------|-----------|------------|
| <b>2010年4月</b>  | <b>15</b> | /          |
| <b>2010年5月</b>  | <b>4</b>  |            |
| <b>2010年6月</b>  | <b>3</b>  |            |
| <b>2010年7月</b>  | <b>1</b>  |            |
| <b>2010年8月</b>  | <b>0</b>  |            |
| <b>2010年9月</b>  | <b>0</b>  |            |
| <b>2010年10月</b> | <b>0</b>  |            |
| <b>2010年11月</b> | <b>5</b>  | <b>105</b> |
| <b>2010年12月</b> | <b>4</b>  | <b>110</b> |

他大でも課題とされている利用者減によるメンバーのモチベーション低下が問題

本当に悩みが少ないのであればこんなに素晴らしいことは無いが、実際はそうではないようだ....。

## ①-1 北大ピア・サポートの概要

相談者の学部と学年(単位:人)



工学部、農学部、文学部、医学部、特に工学部が多い(全体的に学生数が多いからか?)

学部1年(青)、修士1年(緑)など、新入年度がほとんど

## ピア・サポート活動の報告②

## 相談業務の実際-2

### 相談内容と相談数(単位:人)

| 相談内容   | 相談数 |
|--------|-----|
| 道案内    | 6   |
| 履修     | 5   |
| アルバイト  | 3   |
| 授業     | 2   |
| ボランティア | 2   |
| サークル   | 3   |
| 対人関係   | 2   |
| 奨学金相談  | 1   |
| 資格試験   | 1   |
| 学生生活全般 | 2   |
| その他    | 4   |

### 相談者の滞在時間

|      | min  |
|------|------|
| 最小値  | 1    |
| 最大値  | 90   |
| 平均値  | 19.9 |
| 標準偏差 | 24.2 |

**n = 19**

相談内容は多様。  
また、じっくりと話しているうちに  
様々な悩みの掘り起しができる場合も。

つまり、来室していないが、  
悩みを抱えていたり、  
悩みの種はあるが、無意識にしまっ  
ている可能性も。



# ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

# ②広報の提案

# ③今後の活動の指針

## 交流創出イベント「本活」を実施

### 企画の背景

- ♪ピア・サポートの広報として(組織と場所の周知)
- ♪ピア・サポーターの実地訓練の場として  
(サポーターのコミュニケーション能力の向上)
- ♪学生のサポートニーズに関するデータ収集として  
(聞き取りおよびアンケート調査)

### 実施概要

- ♪いらなくなった本を回収し、これから使う学生に受け渡す
- ♪本の回収時には、文房具等と交換
- ♪本の頒布は無料、ただし、アンケート記入を必須

ピアサポート学生生活活性化企画

# ～本活～

いらなくなった本や教科書、参考書  
があれば、是非お持ちよりください。

(マンガ・雑誌等、一部引き取りができないものもありますが、ご了承ください。)

協力してくださった方には、冊数・金額に応じて  
もれなく粗品をプレゼントいたします。

★粗品例★

1冊以上…ペン、クリアファイル

10冊以上…USBメモリー などなど

回収場所：ボランティア室（高等教育機能開発総合センター N109）

回収日：3月16日～30日の(火)と(木) 14時～16時30分

4月 5日(月)～9日(金)

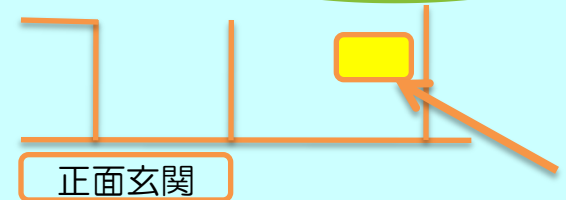
月・水・金11時～15時、火・木11時～17時

※「ピアサポート」とは…

学生の、学生による、学生のためのサポート活動です。

学生生活の悩み、疑問を一緒に解決します。

《予告》今回回収した本は、4月12日～16日にボランティア室  
にて無料で頒布します。探してた本が見つかるかも！！



ボランティア室

ピアサポート学生委員会

連絡先：011-706-7454（高機能センター学生支援課）

[honkatsu@gmail.com](mailto:honkatsu@gmail.com)（ピアサポート学生委員会「本活」担当）

# ①-2 本活

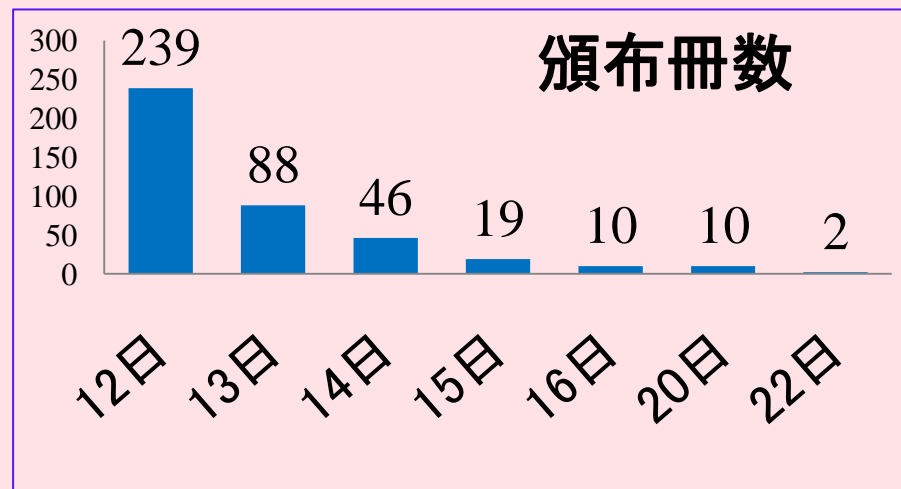
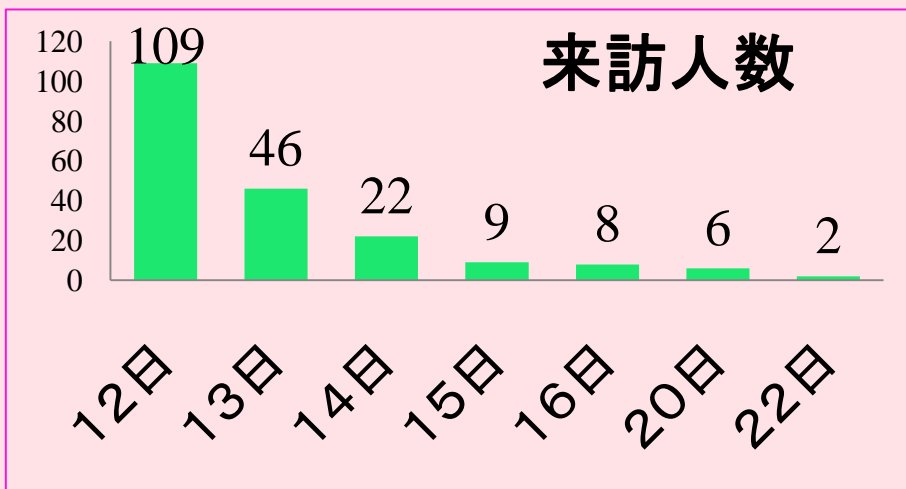
## 結果

■ 2月、3月、4月に本を回収

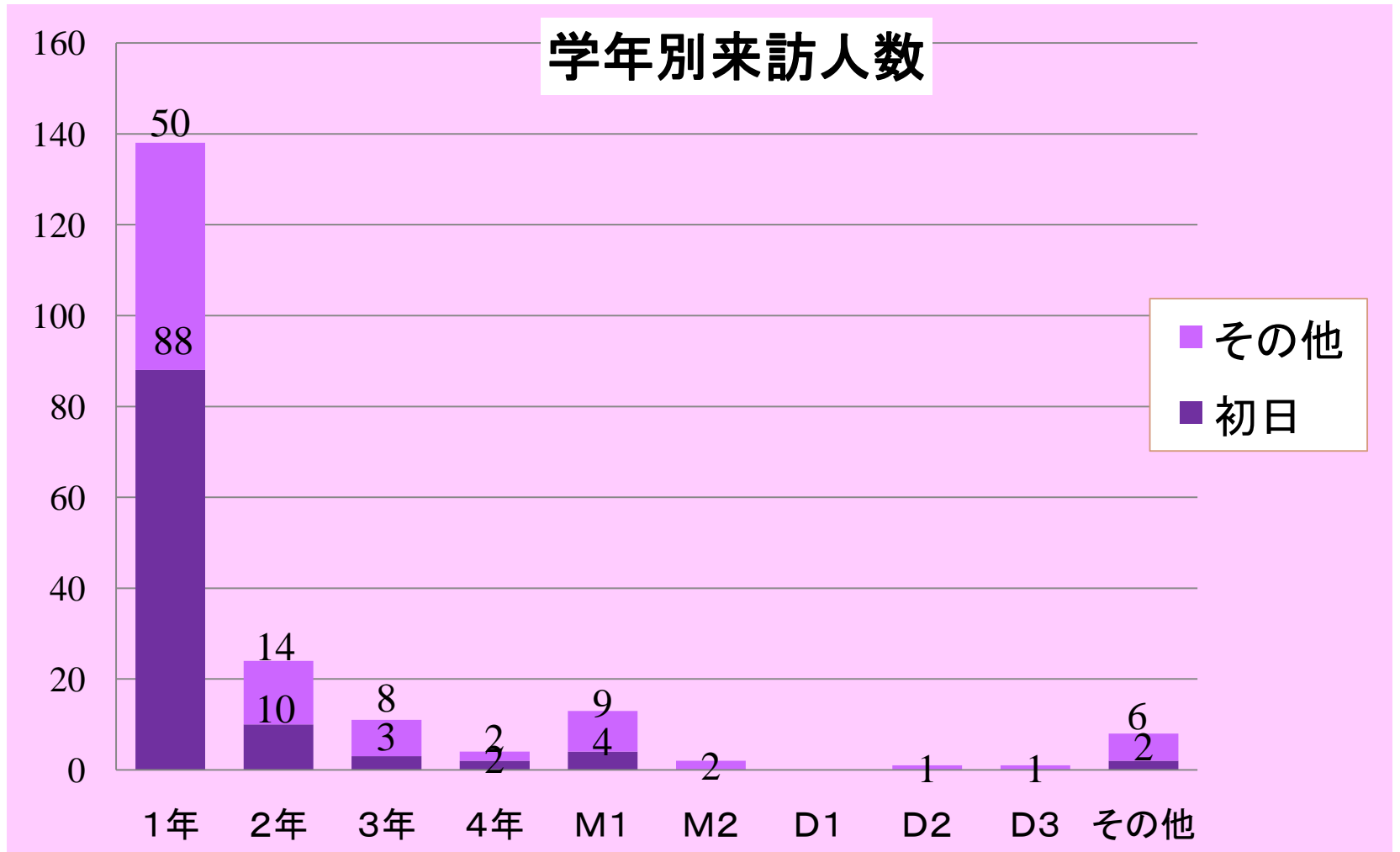
•→計492冊の書籍を回収

■ 4月中旬一週間が頒布期間

•→約400人が来訪。202人に414冊の書籍を頒布



# ①-2 本活









## ①-2 本活

■ 2月、3月、4月に本を回収

•→計492冊の書籍を回収

■ 4月中旬一週間が頒布期間

•→約400人が来訪。202人に414冊の書籍を頒布



- ・予想を上回る来場者数
- ・本を通してコミュニケーションが促進される
- ・立ち話であっても、軽い相談を解決することができた
- ・ピア・サポートの周知
- ・ピア・サポーターのモチベーションアップ



## ①-2 本活

何をきっかけに本活を知りましたか？

|            |     |         |    |
|------------|-----|---------|----|
| 紙媒体        | 128 | クラオリパック | 24 |
|            |     | ポスター    | 25 |
|            |     | 不明      | 79 |
| 人づて        | 56  |         |    |
| たまたま通りかかった | 12  |         |    |
| 不明・その他     | 11  |         |    |

### 宣伝の直接効果

→新入生全員の手元に渡る媒体(クラオリパック)に情報が流せたのは大きい

### 間接的効果

→うわさになりやすいような内容のイベントであったと考えられる。教科書効果が大きい。

## ①-2 本活

本を選んだ理由はなんですか？

① ・授業で必要な教科書だから

・今後、専門分野の参考になりそうだから

② ・語学・資格の勉強のために

・趣味（小説の内容に興味があったから 等）

① 教科書のニーズが高い。

② 学習や趣味、資格などの自分の成長に資する動機。

## ①-2 本活

「学生生活で力を注ぎたいこと」

|               |     |       |
|---------------|-----|-------|
| 学習面           | 127 | 62.9% |
| 課外活動(部活・サークル) | 62  | 30.7% |
| アルバイト         | 16  | 7.9%  |
| 読書            | 7   | 3.5%  |
| 生活            | 5   | 2.5%  |
| 資格取得          | 3   | 1.5%  |
| その他           | 46  | 22.8% |
| 無記入           | 13  | 6.4%  |

「学生生活で不安なこと」

|        |    |       |
|--------|----|-------|
| 勉強     | 58 | 28.7% |
| 生活全般   | 32 | 15.8% |
| 金銭     | 17 | 8.4%  |
| 進路     | 15 | 7.4%  |
| 大学生活   | 14 | 6.9%  |
| 人間関係   | 12 | 5.9%  |
| その他・不明 | 27 | 13.4% |
| ない     | 20 | 9.9%  |
| 無記入    | 22 | 10.9% |

学習面に関して力を注ぎたいが不安、という現状が見えた。

不安なことが無いという人は1割程度しかいない。

# ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

# ②広報の提案

# ③今後の活動の指針

## ①-3活動の報告

2010年2月10日 『「ぴあのわ」報告会』 於:情報教育館【内容は次のスライド】  
→関わってくださっている先生方、教務学生支援課の方々、ピアメンバー

2010年8月16日 岡本健・平侑子「ピア・サポート活動報告会」於:情報教育館  
→関わってくださっている先生方、教務学生支援課の方々、ピアメンバー

2010年8月20日

日吉大輔・岡本健(2010)「アカデミック・サポートとピア・サポートによる学習支援」  
『平成22年度IDE大学セミナー』

【ダウンロードURL】 <http://hdl.handle.net/2115/43898>

→主に道内の大学の総長や学長、様々なサポート活動の先進的取り組みの紹介

2010年11月04日 岡本健「新ピア・サポート室開室に当たって—ピア・サポートのこれまでの活動と今後の展望—」『新ピア・サポート室開室記念お披露目式』  
於:新ピア・サポート室

→副学長、教務学生支援課の方々、ピアメンバー

2010年12月13日 生協書籍部さんへの本活の報告と提案 於:新ピア室

→生協の書籍部さん(お二人)・厨川・青柳・岡本

1. 「ぴあのわ」参加記 (発表者: 岡本健)

2. 「ぴあのわ」に参加して

(発表者: 藤原美津穂、奥塚哲史、厨川知彦)

3. 「ぴあのわ」参加者への質問

(質問者: 高橋修平、浦家奈々、青柳祥子)

4. 会場の皆様からの質問

5. 「本活」の概要と進捗状況

(発表者: 藤原美津穂)

6. 「本活」に関する議論

# ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

# ②広報の提案

# ③今後の活動の指針

## ①-4引っ越し

☆「間借り」から情報教育館2階の専用の部屋に！  
(1年生が教養の授業を受ける建物と図書館の北分館の間に位置し、人通りが多い。)

- ・椅子約30 机9
- ・オープンスペース＋相談室＋ピア・サポート事務室
- ・冷暖房完備
- ・作業用PCおよびプリンター
- ・スクリーンやプロジェクターなど

ちょっとしたシンポジウムや発表会などが出来る設備も



# ①-4引っ越し



外から見たところ

# ①-4引っ越し



オープンスペース全景



# ①-4引っ越し



個別相談室

# ①-4引っ越し



ピア・サポート事務局

# ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

# ②広報の提案

# ③今後の活動の指針

## ②広報の提案

## 苦楽戦隊「ピア・レンジャー」プロット

1. はるか昔、北海道大学はクラーク星人から、大いなる知識を授かる。
2. その大いなる知恵を使って、北大は繁栄を極めた。
3. しかし、繁栄の陰に、悩める学生たちが生まれて来ていた。
4. 人間関係、研究や学び、暮らしなど、様々な場面で悩む学生たち。
5. こうした状況を憂慮したクラーク星統合政府は、  
北大監察局所属Wasabi Sushi Clarkを北大に派遣。
6. 学生が様々なことで悩む姿が数多く見られる。
7. クラーク星人の介入もやむなしか・・・と思われたその時！
8. あらわれたるは、5人の戦士「苦楽戦隊ピア・レンジャー」  
様々な悩みの種を知力と体力で解決！！

## ②広報の提案

# 苦楽戦隊「ピア・レンジャー」ねらい

### 1. 目立つ広報

チラシやビラは、そこら中にあふれているので、目立たない。細かい内実を知ってもらう前に、「なんだこれ？」と認知してもらわないと始まらない。また、他組織とのネットワークを結ぶ必要があるので、その際の宣伝にも使用可能。

### 2. アホな広報

「悩んでいる方、相談に乗ります」という広報の限界。どうしても上から目線に聞こえてしまう場合がある。こんなアホな事を考える人達なんだなと垣根を下げる。

### 3. 本気の広報

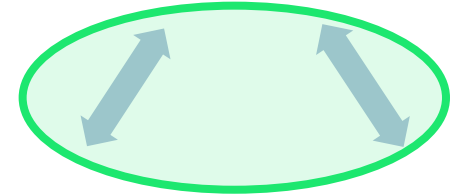
ストーリーや設定など、自分達の組織について徹底的に考えて、こだわって、組み上げる。そうすることで、自分たちのやる事への理解が深まる。

### 4. 背伸びの広報

出来ることをやるのではなく、やりたいことをやる、ピア・サポーター自体がチャレンジしていかないと、学生の相談を満足に受けることは出来ない。



広報



組織の位置付け



成員の維持

## ② 広報の提案

1. 新ピア室を活かす

2. オープンスペース的活用？

3. それは一階にもある、学食だって使える、

4. 一人でゆっくりできる場所があまり無い

5. 相談者の垣根を減らせるような緩衝地帯が必要

6. メンバーにも緊張感を

7. 他組織とのコラボレーション企画

8. プラットフォームを作ってはどうか

ピア・カフェ



# ①活動報告

- 1. 北大ピア・サポートの概要
- 2. 本活
- 3. 活動の発表
- 4. 引っ越し

# ②広報の提案

# ③今後の活動の指針

### ③今後の活動の指針:ピア・サポート活動の枠組み

効果的な**広報**のためには、**組織の位置付け**の明確化が必要。逆に、**組織の位置付け**が明確化していれば、的確な**広報**が可能に。

広報

**広報**によって相談者が増えたり、相談員が増えることで、成員の**モチベーション**および**人材**の維持につながる。逆に、成員の**モチベーション**が高く、**人材**も良ければ、そのこと自体が**広報**になっていく。

組織の位置付け

成員の維持

・モチベーション  
・人材

**組織の位置付け**が明確化すると、成員は「誰のために何をしているのか」という自分の位置付けを理解することになり、**モチベーション**が高まる。逆に成員それぞれが、自分の**活動の位置付け**を明確化することにより、**組織の位置付け**も明確化され、各種イベントなどが、**組織の位置付け**に沿ったものとなって、イベントに来る人に対して、**組織の魅力**を伝えることができる。それによって、**新たな人材の確保**につながる。

ここに位置する取り組みをやる  
ことが重要であると考えている。



ご清聴ありがとうございました！